

※情報共有メールは、プラチナサポートの特典となっております。プラチナサポート加盟店以外への共有、流用等は禁止されております。

※配信当時の内容のため、現状の内容と異なる場合もございます。予めご了承ください。

プラチナサポート情報共有メール

No.	690	配信日	2026/5/28	ジャンル	商品知識
テーマ	洋酒（ウイスキー・ブランデー）				

ただの古酒だと思っていたものが数万～数百万円の資産になることも!?

今回は、そんな洋酒の特徴と買取相場が上昇する要因について接客で活かせるように共有いたします。

1.洋酒の特徴

・長期熟成による希少価値が生まれている

ウイスキーやブランデーは、樽の中で長い年月をかけて熟成されることで価値が高まります。

特に 10 年・20 年・30 年以上の長期熟成ボトルは、生産本数が限られており、年数が経つほど市場価値が上昇しやすい特徴があります。

・世界的ブランド力

「マッカラン」「ヘネシー」「レミーマルタン」など一部ブランドは、世界中のコレクターや富裕層から高い人気を集めています。

特に限定ボトルや終売品は、発売当時より何倍もの価格になるケースもあります。



・未開封で価値が残りやすい

洋酒は未開封で保管されていることが多く、飲まずにコレクション化されるケースも増えています。

箱付き・冊子付き・液面良好など状態が良いものは、査定額にも大きく影響します。

例えば・・・ルイ 13 世：ボトルがバカラ製でトゲトゲしている個性的なボトル
マッカラン：25 年アニバーサリーモルト

2. 買取相場が高騰する要因

・終売・休売によるプレミア化

原酒不足により、メーカーが販売休止（休売）や生産終了（終売）に踏み切ることがあります。

二度と手に入らないボトルとなるため、希少価値が跳ね上がり相場が急騰します。

・実物資産・投資対象としての注目

ウイスキーやワインの限定ボトルは、株や通貨に比べて価値が暴落しにくく、

時間が経つほど希少性が増すため、投資家やコレクターが資産防衛として購入しています。

買い占めが起きることで、市場の流通量がさらに減り、相場が吊り上がる要因の一つとなっています。

3.迷っているお客様に使えるトーク

「いま洋酒市場は、終売になったウイスキーや希少なブランデーなど、長期熟成ボトルの流通量が年々減っています。そのため、昔いただいたままご自宅に眠っていたお酒が、現在では驚くような価値になっているケースが非常に多いんです。

しかし、保管状態によっては、時間が経つほど査定に影響してしまうこともあります。

このままご自宅で眠らせておくと、液面低下やラベルの傷みにつながり、次回お持ち込みの際には、お値段をお付けすることが難しくなる場合もございますので、本日お売りいただくのが最もいいタイミングですよ！」